

前号目次

「二種深信」に表現された宗教の本質	岡 邦俊
道徳と宗教	松永 大覚
徳育場の研究 (岡)	荒井 貞雄
音楽の存在方式認識に関する一つの反省	酒井 諄
シヨパン論 (一)	佐藤 允彦
生物の R.C.E. System に関して	富田 朋介
三勝半七の伝と文芸 (その二)	沼波 守
京都市の組物業	山本 薫
書評紹介	
The Three R's Plus	荒井 貞雄
麻覚物語 全釈	田中重太郎
The Sense of Music	馬淵卯三郎

前々号目次

初期宗教心の統計的研究	荒井 貞雄
無と空に就て	海辺 忠治
歎異鈔の信仰	松永 大覚
織維に就て	富田 朋介
服装史より	山本登美子
——流行の変遷を裏付けるもの——	
第九交響曲解説 (承前)	石倉小三郎
シヨパン考	佐藤 允彦
枕冊子本文語彙考証	田中重太郎

## 学園だより

### 今小路学長受賞祝賀会の記

五月三日は憲法記念日である。この日今小路学長は藍綬褒章を授けられた。私学教育とその專業に多年尽瘁せられた功が酬いられたのである。

わが学園では教職員を初め学生生徒、同窓会員、学園会員諸君によつて学長と悦びを共にする祝賀の会が二十三日の午後五時から国際観光ホテルで催された。集まる者凡そ四五〇名、広きを誇るさしもの七階大ホールも肩々相摩すありさまで会の世話人たちはうれしい悲鳴をあげたことだつた。

会は学長夫妻を迎えて定刻、花田教務室長の司会で開かれた。中山理事から報告と挨拶が述べられ、続いて草部了円作詞、大橋博作曲になる祝歌を柳瀬徹氏が独唱すれば場内われるが如き拍手の嵐、アンコールにこたえて二度目のソロが終るや間髪を入れず乾大阪府教育課長が祝盃の音頭をとれば全員「おめでとう」の唱和で祝宴に入る。

うたげのなかで下田大阪女子学園長、藤音京都女子大学長村山相愛学園会長ともども祝辞を述べれば度毎に万雷の拍手お

今小路学長受賞祝賀会の記・第六回文芸講演会

こつて場を庄した。本願寺総勢阿部慶昭師が宗門からの表彰状を今小路学長に伝えられ、次で副理事が記念品を贈呈する頃には祝宴は最高潮に達した。今まで場内をゆるやかに流れていた学園歌のメロディーが一時杜絶えたのを機会に学長謝辞を述べ、これでは一旦閉じられたが、あちこちにグルーブの渦潮が学長夫妻を巻き込んで、てんでに祝辞を述べるやら記念の撮影をするやらで賑やかなことであつた。(N)

### 第六回 文芸講演会 (五月十九日)

次第に相愛の名物化して来た観のある定例の文芸講演会、今年その第六回目を迎え、次の如く多彩な陣容のもとに開講する事が出来た。

挨拶 今小路 学長

一、私たちの言葉 高見 順氏

二、女流文学雑感 円地 文子氏

三、昔がたり 有吉佐和子氏

四、宗教と文学 亀井勝一郎氏

本講演会の入場券は、往復ハガキの申込みによるもので、会場の収容能力とにらみ合わせて、約千二百で打切つたので、当日の入場者数はその二割減の約千名という、当初の計画のほば

理想的な姿となつた様であつた。

最初の高見氏は一見して、うわ背のある、堂々たる体軀の持主で、瀟洒とした紳士という形容もあてはまりそうな印象を受ける。具体的な事実を挙げながら、人生観の一端を述べられるが、断定の仕方が極めて慎重、誠実、且つ詳細。とてもひかえ目であるかの如く感じられる反面、断乎として相ゆずらぬ気魄が隠見する。聴衆の気持を探り探り話されるなどは、訥弁、内気に似て、かえつて心を聴衆の中に置く親近感があり、随分と心をひきつけられる話術という風にも受けとれる。「わが胸の底のここには」の著者たるにふさわしい誠実さが聴く者の心にしみつく。

円地文字氏は、女性としては少々太い、錆のある声で早口に話される。豊富な実作者としての体験をおして、「古典教室」の著者らしい含蓄の深さを披歴される。作品論、作家論、そして女流作家の特質など。

有吉佐和子氏は、本日の聴衆の最も注目するところであつた。「地唄」以下の作品や、例のテレビ「私だけが知っている」から推して聰明、才女の化身とニランでいたが予想適中のかんがあつた。そのユーモラスな話を聞き終えて、極めて手際よく料理されてしまった思いが湧く。人形浄瑠璃に関する昔がたりであつたが、それが作者をも含めた人形浄瑠璃のP・Rに、ち

やんとなつている。帰朝後は、講演会や座談会など凡て欠席して、一意専心、創作に励まれるという御言葉があつたが、だとすれば、この相變での講演という機会は、容易ならざる、恵まれたる好機会であつたという事になる。

亀井勝一郎氏は、一番しんがり。皆さんは今まで、三人の諸師の方から面白い、有益なお話を、堪能する程お聞きになつて、もう相当、疲れていらつしやる。で、私は最後に、最も、こむずかしい人生の難問題を徹底的にほじくり廻して、今夜皆さんが、ぐつすりおやすみになれる様にしてあげたいと思う。と一言なさつて、聴衆笑声しきり。人間性に立脚する双生児たる、文学と宗教との厳しい本質的解明と位置づけ、そしてその対決の様相についての独創的な、歯切れの良い論述には満堂、酔えるが如く聴き入つていた。こうして豪華多彩なるメンバーによる第六回文芸講演会も、平凡な形容ながら、又有益裡にその幕を閉じたのであつた。

(N)

学内演奏会 (第七回)

とき 昭和三五年十一月一七日 (木) 午後二時より本学講堂

において

1 リスト「ハンガリア幻想曲」 大谷 時子

第二ピアノ

2 箕作秋吉「悲歌」

プッチーニ「告別の歌」(ラ・ボエーム)

堀江 公子(S)

(伴奏 田中靖子)

3 ブラームス「日曜日」(「おおいとしき頬よ」)

水島 路子(S)

(伴奏 藤村洋子)

4 リスト「即興円舞曲」

中田喜直「おやすみ」

ウエーバー「エンヒェンのアリア」(魔弾の射手)

日高 輝子

(伴奏 田中靖子)

6 ウエーバー「ソナタ Op. 三九」 堀 佐代子

7 ペルゴレーシ「怒り、焦り」

ロッシーニ「いまの歌声」(セヴィリヤの理髮師)

学内演奏会・相愛学園図書館読書会

8 シューマン「ピアノ協奏曲」

第二ピアノ

木沢 美幸

(伴奏 大谷時子)

9 プッチーニ「ききたまえ」 「リネの死」(トウランド

ット)

貴多野 万知

10 ショパン「ピアノ協奏曲 Op. 11」

田中 靖子

第二ピアノ

相愛学園図書館読書会 (第二十一回)

三月九日 午後二時より

第一会場、討議会を学園会議室、

第二会場、送別会を「京華」において開催。

参加者は今小路学長、荒井館長をはじめ、大学側からは石倉、二十二、海辺、田中の諸教授、高校側からは、川喜多、大槻の諸先生、それに大学・短大各科及び高等学校の学生、図書館員合せて五十四名。

討議のテーマは亀井勝一郎の「若い人々のための人生論」の

相愛オーケストラ第二回演奏会・演奏旅行・昭和三十五年度卒業演奏会

七四

中の「矛盾について」であった。然し、そのうちでも、特に恋愛の矛盾についての項にしばらく傾向があった。著者の常識的世俗的恋愛観、即ち愛情―結婚―出産―倦怠―子供による恋愛救済コースの思考に対し、田中教授の恋愛絶対論的立場からの反論、批判は熾烈をきわめ、更に、肯定を前提とする読書態度に対しての警鐘は一入高かった。

子なき恋愛に論及するにつれ、今小路学長の青春譜が、連鎖的に情緒でん綿として人間味が噴出、一同を陶醉せしめた。

午后五時、三時間に及ぶゼミナールは、その論旨が荒井館長によって次の如く結ばれた。「卒業式を明日に控えた学生諸君には、今日のこの読書会の内容は人生に対する指針でもあり、喜びでもあり、又感激でもありませんよう」

五時半より第二会場「京華」で夕食を共にしながら、今上司書退職につき記念品を贈呈し、卒業生の活動を讃え、送別の辞を送ると共に、新幹事の選出と次回の行事についての打合せとをすませ、別れを惜しみながら八時散会。(Y)

相愛オーケストラ第二回演奏会

昭和三十五年十二月六日午後六時半より本学講堂において

○B組オーケストラ

指揮 東儀祐二助教授

シューベルト「軍隊行進曲」

ヨナソン「カッコー・ワルツ」

○A組オーケストラ

指揮 斉藤秀雄教授

東儀祐二助教授

ビバルディ「秋」

モツアルト「セレナーデ ト長調 Ⅹ 五二五」

ウェーバー「舞踏への招待」

ブラームス「ハンガリア舞曲 五番・六番」

演奏旅行

○音楽学部二、三、四年次学生参加。昭和三十五年一月二四日より十二月二日まで広島（進徳学園・広島公会堂）、門司（鎮西女子学園）、福岡（築紫女子学園）、佐賀（竜谷学園）、熊本（文化ホール）、中津（扇城学園）において演奏会。指揮、林雄一郎講師、大橋博助教授。ソロ、徳末悦子教授、伊藤亘行助教授、伊藤京子講師、小中美智子講師。

○相愛オーケストラ、昭和三十六年一月二一日田辺市において演奏会、指揮、東儀祐二助教授。

昭和三十五年度卒業演奏会

ピアノの部 昭和三十六年二月十日午後二時より本学講堂

において

ブラームス「ラプソディー op. 一一九の四」

大谷 時子

ベートーベン「三十二の変奏曲」

岡田 敦子

ドビッシューの「雨の庭」

北地 礼子

リスト 「ポロネーズ二番」

小林田 鶴子

ベートーベン「ソナタ op. 一三二」

下野 トヨ子

リスト「ウイーンの夕べ」

滝浪 洋子

バッハ「半音階的幻想曲とフーガ」

辰 巳 夫佐子

ショパン「ソナタ op. 五八」

田中 靖子

シューマン「幻想小品集」

富永 洵子

ショパン「幻想ポロネーズ op. 六二」

藤村 洋子

ベートーベン「ソナタ op. 三二の二」

堀 佐代子

ガラスノフ「テーマと変奏 op. 七三」

二浦 克子

声楽・弦楽の部 昭和三六年二月二三日午後二時半より

り本学講堂において

○声楽

ベリーニ「神の族（ノルマ）」

石渡日出夫「鹹湖」

井上 秀子(S)

ベルディ「したわしき御名（リゴレット）」

中田喜直「たんぼげ」

木沢 美幸(S)

諸井三郎「少年」

団伊玖磨「つうのアリア（夕鶴）」

貴多野 万知(S)

シューベルト「ガニメート」

団伊玖磨「藤の花」

中村 美和子(S)

マスナー「手紙（ベルテル）」

山田耕筰「マルーシャの歌」

西野 由憲子(MS)

グノー「宝石の歌（フォースト）」

中田喜直「さくら横」

日高 輝子(S)

ベルディ「乾杯の歌（ラ・トラビアタ）」

山田耕筰「中国地方の子守歌」

堀江 公子(S)

リスト「ローレライ」

中田喜直「風の子供」

水島 路子(S)

○弦楽

ゴルトマルク「バイオリン協奏曲」

七五

古武 順子

昭和三十五年卒業演奏会

研究生発表演奏会

とき 昭和三十六年五月三〇日午後二時より本学講堂において

1 ソプラノ独唱

皆川 美弥子

(伴奏 山本暎子)

蝶々夫人より

a ある晴れた日に

b 可愛い坊や

2 ピアノ独奏

小川 嘉久子

ベートーヴェン

a ソナタ op. 五三

b ノクターン op. 一五 No. 二

3 ソプラノ独唱

後藤 雪江

(伴奏 小中美智子)

女の愛と生涯

イ 君みてより

ロ 世にたぐいなき君よ

ハ 夢ならばなめよ

ニ ゆびわ

ホ 妹よ

ヘ かくもあやし給うや

4 ソプラノ独唱

棚橋 克子

ト わが胸に抱かれ  
チ ああはてなきこの悩み

a みぞれに寄する愛の歌

(伴奏 山本暎子)  
大木惇夫 作詩  
山田耕筈 作曲

b アイダより

勝ちて帰れ

ウエルディ

5 ピアノ独奏

南部 明子

a ソナタ op. 八一 a

b 幻想小曲集

イ 夕べに

ロ 飛翹

ハ 何故

ニ 気まぐれ

ホ 夜に

ヘ お伽話

ト 夢の乱れ

チ 歌の終り

6 ソプラノ独唱

門屋 菊子

a イ はるかなる昔

(伴奏 山本暎子)

レスピーギ

ロ 晩歌

b ショコンダより

自殺の歌

ボンキェルリ

### 図書館棚だより

#### 一般教育関係

- 大論理学 下巻 武市 健人 訳 (昭三六)  
 フィヒティの政治哲学 南原 繁 著 (昭三四)  
 デカルトの自然像 近藤 洋逸 著 (昭三四)  
 弁証法神学の倫理思想 山本 和 著 (昭三六)  
 新倫理学講座 一～五巻 創文 社 編 (昭二九)  
 エマーソン選集 一卷 齋藤 光 訳 (昭三五)  
 " 三巻 小泉 一郎 訳 (昭三六)  
 " 四巻 原島 善衛 訳 (昭三五)  
 " 六巻 酒本 雅之 訳 (昭三六)  
 ギリシャの哲学二・三・四・五巻 山内 得立 著 (昭三五)  
 The Mysticism of Paul the Apostle. Albert Schweitzer 著 (一九五三)  
 哲学の現段階 山崎 正一 著 (昭三四)  
 人間観の相剋 武田 清子 著 (昭三四)

図書館棚だより

アリストテレスの存在論 安藤 孝行 著 (昭三三)

哲学原論 武市健人、山本英一編 (昭三五)

シェリング哲学の研究 西川 富雄 著 (昭三五)

西洋哲学史 市井 三郎 訳 (昭三五)

現代哲学入門 下村寅太郎 編 (昭三五)

An Historian's Approach to Religion. Toynebe, A. 著 (一九五三)

History of Western Philosophy. Russell, B. (一九五七)

Aristotle and Plato in the Mid-Fourth Century. During, I. G. E. L. 著 (一九六〇)

Existential Metaphysics. Thakheimer, A. 著 (一九六〇)

Principles of Descartes Philosophy. Spinoza 著 (一九四三)

Philosophical Papers. Moerer, G. E. 著 (一九五〇)

ヘルゲンソンの研究 坂田徳男、沢瀧久敬 編 (昭三六)

近代哲学原理の崩壊と再建 藤田 健治 著 (昭三一)

哲学的価値論の研究 大江 清一 著 (昭三一)

東洋思想と西洋思想 三枝 充應 著 (昭三一)

唯物論的倫理学 柳田謙十郎 著 (昭三四)

日本の観念論者 船山 信一 著 (昭三一)

日本唯物論者 三枝 博音 著 (昭三一)

七七



マグナカルタ 田中 秀央 著 (昭三五)

日本経済年鑑 日本経済新聞社 編 (昭三六)

大日本分県地図 国際地学協会 (昭三六)

経済学小辞典 大阪市立大学経済研究所 編 (昭三五)

岩波独和辞典 小牧健夫他 著 (昭三五)

ギリシヤ・ラテン引用語辞典 田中秀央、落合太郎 編 (昭三二)

教職関係

人格要因の測定 辻岡 美延 著 (昭三五)

カウンセリングの基礎 伊東 博 訳 (昭三五)

人格診断法 (ロールシャッハ・テスト) 本明 寛 著 (昭三五)

ロールシャッハ・テスト (2)(1) 戸川 行男他監 (昭三三)

(心理診断法双書) 戸川 行男他監 (昭三三)

カウンセリングの原理と方法 F・P・ロビンズ 伊東 博 訳 (昭三五)

(ロールシャッハ・テスト) 片口 安史 著 (昭三五)

心理診断法詳説 内田勇三郎 著 (昭三五)

新適性検査法 内田勇三郎 著 (昭三五)

T A T 戸川 行男他監 (昭三四)

(心理診断法双書) 戸川 行男他監 (昭三四)

家政科関係

初等家庭機械工学(製図・機械篇) 吉田 元 著 (昭三五)

最新標準製図法 川島 隆 著 (昭三五)

着物全書 大塚 末子 著 (昭三五)

新しい裁断のきもの // 婦人生活編集部 (昭三五)

刺繍手芸全集 Arthur Bracken 著 (昭三五)

微生物化学 赤井重恭、獅山慈孝 訳 (昭三五)

織物分解設計の実際知識 全国繊維工業技術協会 編 (昭三五)

单相誘導電動機とその応用 石黒 敏郎 著 (昭三五)

加工織物の実際知識 繊維新聞社出版部 編 (昭三六)

Interiors in Colour. R. Smithells. (一九五四)

The Costumes & Textiles of India. J. B. Bhushan. (一九五八)

西洋被服文化史 元井 能 著 (昭三四)

食品添加物公定書 日本食品衛生協会 編 (昭三五)

西洋被服発達史(古代・中世)(近世) 丹野 郁 (昭三五)

技術工作機械器具図解大辞典 松田義之監修 (昭三五)

生活造形の美学 谷田闕次 著 (昭三五)

岩波生物学辞典 山田常夫他編 (昭三五)

日本纖維産業史(各論篇・総論著) 日本纖維協議会編 (昭三五)

音楽学関係

T. M. Finney ; A History of Music. (一九三五)

F. B. Chapman ; Flute Technique. (一九五八)

H. Creuzburg ; Partiturspiel, Bänden 1~4 Philipp Spitta ; Johann Sebastian Bach. (一九五二)

William Schuman ; The Juilliard Report. (一九五三)

D. A. Hughes ; The New Oxford History of Music. (一九六〇)

H. C. Robbins Landon ; Joseph Haydn. (一九五九)

Paul. R. Farnsworth ; The Social psychology of Music. (一九五八)

Hans Peter Schmitz ; Querflöte und Querflötenspiel Bärenreiter. (一九五八)

Paul Beyer ; Studien zur Vorgeschichte des Dur-moll. (一九五八)

J. L. Mursell ; Music Education (principles and programs) Ludwig von Köchel ; Wolfgang Amadeus Mozart. (一九五八)

Philipp Spitta ; Johann Sebastian Bach. (一九五二)

Otto Erich Deutsch ; Händle (A documentary biography.) (一九五五)

Manfred F. Bukofzer ; Studies in Medieval and Renaissance Music. (一九五〇)

J. S. Bach ; ハッハ全集(本巻一四、解説九) (一九五九)

W. A. Mozart ; モーツアルト全集(本巻二〇、解説九) (一九五九)

萩原雲来著 ; 実習梵語学 (昭三一)

水野弘元著 ; パーリ語文法 (昭三四)

〃 パーリ語仏教読本 (昭三一)

岩本 裕著 ; サンスクリット文法 (昭三一)

国文科関係

東洋美術文庫 アトリエ社

日本美術史図録 源 豊 宗 編 (昭一五)

大和絵詞研究 下店 静市 著 (昭一九)

日本文学辞典 泉井久之助 他 (昭三六)

明治大正昭和の人々 佐々木信綱 著 (昭三六)

歌舞伎年表 第六巻 伊原 敏郎 著 (昭三六)

後選和歌集校本と研究 二冊 小松 茂美 著 (昭三六)

大日本絵画史 関 衛 著 (昭一九)

中島広足全集 弥富破摩雄、横山重 校訂 (昭八)

京都市史 京 都 市 編 (昭三三)

恋路ゆかしき大将 金子 武雄 著 (昭一一)

図書館棚だより・消息

- 枕冊子本文の研究 田中重太郎 著 (昭三五)  
嵯峨本つれづれ草 奥山春枝 発行 (昭 九)  
時代風俗画集 江馬 務 監 (昭 三)  
史籍集覽 (明一四)  
謡曲の植物 伊藤 和洋 著 (昭三五)  
慈円全集 多賀 宗隼 編 (昭二〇)  
寝覚物語全釈 関根慶子、小林登美 著 (昭三五)  
法隆寺壁画 白石 村治 著 (大 九)  
西洋美術辞典 今泉篤男、山田智三郎 編 (昭二九)  
元暦万葉集 朝日新聞社 (昭 四)  
(五月二十日現在)

消 息

○今小路覚瑞学長、多年教育に尽瘁された功により、政府より去る四月十月栄えの藍綬褒章を授与された。

○東儀祐二助教授、バイオリン・リサイタル、三月十六日、於産経会館（ピアノ市川伸子講師）。

○山本登美子助教授、日本デザイン文化協会主催による海外シヨウに参加のため、去る三月十八日より二十四日迄香港へ出張。山本助教授は同会常任委員。

○柳瀬 徹講師 リサイタル、五月十六日、於大阪毎日国際サロン。